



## 確定診断までの長い道のり

### 重症筋無力症患者さんのリアルをまとめた「重症筋無力症コミュニティ ニーズ レポート」発行

- 重症筋無力症（MG）患者が抱える課題を明らかにする調査プロジェクトを実施
- 「診断の遅れ」「症状による負荷と疾患への理解不足」「支援サービスへたどり着くまでの難しさ」が世界各国の患者さんに共通する課題として明らかに
- 日本の患者さんは欧米と比べ、眼科の受診頻度・眼疾患が疑われた頻度が高い。また、差別や偏見への懸念から MG について周囲と共有しない傾向

ユーシービージャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代取締役社長：菊池 加奈子）は、この度、希少性の自己免疫疾患である重症筋無力症（MG）患者さんが抱える課題をまとめた「重症筋無力症コミュニティ ニーズ レポート」（日本版）を発行しましたので、お知らせします。

MG は、有病率が全世界で 100 万人につき 100 人から 350 人と言われる希少疾患であり、疾患の認知度の低さから、診断が確定するまでに長い時間がかかることが多く、また、多様な症状から他の疾患と診断されるケースが少なくありません。このような背景から、MG 患者さんが抱える課題を明らかにするため、ユーシービーでは調査プロジェクトを実施しました。

ユーシービーは調査結果をもとに全世界的に MG 患者さんが直面する課題を明らかにした「Myasthenia Gravis Global Community Needs Report」（グローバル版）を作成し、さらに米国、欧州および日本の 3 地域における類似点と相違点を明らかにした地域別のレポートを作成しました。「重症筋無力症コミュニティ ニーズ レポート」（日本版）では、日本特有の社会的背景や日本の MG 患者さんの声を加筆しました。

これらのレポートは、世界各地の MG 患者さんが直面している課題とアンメット・メディカル・ニーズに対し、MG にかかわる全ての人が協力し、課題解決へのアクションを促すことを目的としています。

希少疾患領域メディカルサイエンス部 部長 大橋 陽平は、「今回の調査で、日本の MG 患者さんが確定診断にたどり着くまでに、多い患者さんで 4 つの診療科を受診していること、疑われた疾患が合計 11 にものぼること、また、欧米の患者さんと比べて、差別や偏見への恐れから、MG について周囲の人たちと共有しない傾向があることなどがわかりました」と述べるとともに、「今回の調査結果を基に、日本の患者さん特有の状況を把握し、非専門医を含めた幅広い医師に対する情報提供や、疾患への理解の促進、患者さんが情報弱者にならない環境作りを進めてまいります」と語っています。



## 「重症筋無力症コミュニティ ニーズ レポート」(日本版)

以下の各サイトからダウンロードが可能です

(患者さん) <https://ucbcares.jp/patients/gmg/ja/content/905168120/patient-voice-index>

(医療関係者) [https://hcp.ucbcares.jp/hcp-knowledge/MG\\_00474#](https://hcp.ucbcares.jp/hcp-knowledge/MG_00474#)

(一般の方) [https://hcp.ucbcares.jp/sites/default/files/2024-03/JP-DA-2400022\\_重症筋無力症コミュニティニーズレポート.pdf](https://hcp.ucbcares.jp/sites/default/files/2024-03/JP-DA-2400022_重症筋無力症コミュニティニーズレポート.pdf)

### 重症筋無力症 (MG) について

MGは、自己抗体が原因となる骨格筋の筋力低下による眼瞼下垂、複視、嚥下困難、咀嚼困難などさまざまな症状を有する希少疾患で、重症化すると呼吸筋麻痺により呼吸困難を起こすこともあります。2006年と2018年に国内で行われた疫学調査によると、推計患者数はそれぞれ15,100人と29,210人となり、およそ10年間でほぼ2倍に増加していることがわかりましたが、増加の要因は明らかではありません。

### UCB (ユーシービー) について

UCB (www.ucb.com) は、ベルギーのブリュッセルに本社を置くグローバルバイオファーマで、ニューロロジーや免疫・炎症領域の重篤な疾患と共に生きる患者さんのより良い生活の実現を目指して、革新的な医薬品の研究開発ならびにソリューションの提供に力を注いでいます。約40カ国に拠点を置き、従業員数は9,000名あまりを擁しており、2023年の収益は53億ユーロでした。UCBはユーロネクスト・ブリュッセル証券市場に上場しています。

ユーシービー・ジャパン株式会社 (<https://www.ucbjapan.com>) はUCBの日本法人として1988年に設立され、抗てんかん薬、関節リウマチ治療薬および乾癬治療薬を中心に医薬品事業を展開してきました。2023年より希少疾患領域でも治療薬の販売を開始し、現在、「リスティゴ®」、「ジルビスク®」の2剤を重症筋無力症の患者さんに提供しています。患者さんにとっての価値を創造するバイオファーマリーダーとして、従来の治療で十分な改善が得られなかった患者さんに、新たな治療の選択肢を提供することを目指しています。

報道関係お問合せ:

ユーシービー・ジャパン株式会社 広報  
03-6864-7650